設計変更　理由書

神戸市

工　事　名	神戸六甲線（カーブ№45 近傍）防災対策工事

設計変更後の工事概要

土工　一式
簡易吹付法枠工　A=59 ㎡
自然斜面補強土工　A=1,615 ㎡
ポケット式落石防護網工　A=1,224 ㎡
仮設工　一式

契約変更の理由

現地踏査及び伐採作業の際に多数の不安定な転石群を認めたため、転石群の分布を把握する緊急調査を行った。調査結果をもとに落石リスクの評価を行ったところ、現状では落石が発生した場合に道路に飛び出す恐れがあることが分かったため、道路の安全確保のために落石対策工（ポケット式落石防護網工）を追加で実施する。

施工範囲内の斜面の一部がオーバーハングしており危険であったため、伐採と整形作業による応急対策を行った。しかし、安定勾配を確保できておらず、降雨による斜面崩壊のリスクが残るため、吹付法枠工を追加で実施する。

その他、現地精査による数量増減が生じる。